

ほけんだよい



令和7年9月
こでまり保育園
～第6号～

暦の上では秋になりましたが、まだまだ日中は暑く汗ばむことも多いです。少しずつ気温の差も出てきますので、こまめに着替えたり、衣服の調節をし快適に過ごせるようにしていきたいですね。季節の変わり目は身体が疲れやすく、気温の変化で体調を崩したり、夏の疲れが出やすくなる時期です。「早寝・早起き・朝ごはん」で生活リズムをしっかりと整えて病気に負けない身体作りをしていきましょう。

★9月9日は救急の日★

家の中で起こる事故で特に命にかかわるのが窒息で、0歳児が圧倒的に多いです。1歳からは、転ぶ・落ちることでの救急搬送が5～6割を占めます。家の中が安全かどうかチェックしてみましょう。

ベランダ…子どもだけではベランダに行かせない！目を離さない！！

子どもの転落事故は、一人で歩き始める 1～2歳頃から増え始め、3歳から4歳で最も多くなっています。3歳から4歳の頃は、自我が芽生え、好奇心や興味本位で何でもしたり、走ったり登ったり活発な動きができるようになりますが、まだ危険かどうかを判断することが難しく注意が必要です。



キッチン…コンロのグリル使用後は高温になっているためやけどに注意！

子どもの行動範囲が広がり思わぬ事故の危険も増えていきます。炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所です。



リビングなど…特にボタン電池や医薬品、たばこの誤飲は危険です！

ソファやベッドから落ちる転落事故や、玩具や豆類・あめ玉・こんにゃくゼリーなどの食べ物や硬貨・ボタン・小さな文房具などの誤飲事故がおこりやすいです。保護者や兄姉の持ち物など、物の置き場所に気をつけましょう。



～窒息した場合の救急法～

<1歳未満>

《胸部突き上げ法》



5回ずつ
繰り返し
ましょう。

片手で体を支え、手の平で後頭部をしっかりと支えます。心肺蘇生法の胸部圧迫と同じやり方で圧迫しましょう。

《背部叩打法》



片手で体を支え、手の平であごをしっかりと支えます。もう一方の手の平の付け根で背中をしっかりと叩きましょう。

<1歳以上>

《腹部突き上げ法》



背後から両腕を回し、子供のみぞおちの下で片方の手を握り拳にします。その手で腹部を上方へ圧迫しましょう。